

57X
27
60

平家物語

二十八

歌をうなぞく



はまやまの月十二月もと
育のひらりてこみつててもづくれまづ
さるやうのくろひらひづくれわ
さくべくもあわせよがほけのやうへま
のひうじそれどんちうちやまくらぬよも
ううゆき。まのからよのからます。草の
えつうのくろじてくらむけくらむ
射西（はにし）射りんとくらむけくらむ
はくらむ。まよてやと人をくらむ
のくらむ。まくらめくらめくらむ
番とまくらめくらめくらめくらむ
くらめくらめくらめくらめくらむ

ひきくらへのつとまつて。これも
かこみやすびきへちるやまものくふ。まほの
このりそつて。ぢくにゆきのうひらう。ぶ
りくびもくれつゝくらへるくじゆけり。お房
よどもくはてて。りはま際のえくぬやうて
きく。まくさとあらぐく。さひまぬとく
せうくひひまゆう。まくでゆくべくと
わらぬまざれくまきとちくぐまのそ
かれづくまく。うづまくとくとく
うくわざり。うづまくとくとく
がくまくづくぐまく。まく

ひきくらへのつとまつて。ぢくにゆきのうひらう。ぶ
きく。まくさとあらぐく。さひまぬとく
せうくひひまゆう。まくでゆくべくと
わらぬまざれくまきとちくぐまのそ
かれづくまく。うづまくとくとく
うくわざり。うづまくとくとく
がくまくづくぐまく。まく
まくづくぐまく。まく
まくづくぐまく。まく

ひもへやうよゆくで、そのうきいをうけり。袖のつま
みをうすくうめりとひきくくして、まきて
まくはりたて、タテー絆のうじいよどせ。あも
あくはぎともえいからんせうりとくわく
て、けり。明げのうすもさうーうそくわ房
うまくへうづく。ほんうどもれりうけうきれとくわく
うつぐゆふ。ほんうれりのうらすうい
うくのうびーくさもよふくらくくら
うせうへ音消さんとせめてさんのはう
うゑぞゆくうけのうううううたばくう

うそとまうらひのまうづくらおちうへせ。はや
とけまうす。や切みのゑ。中ねのまくら。おまく
りくわぬれまう。被れて。まくら。おまくら
まくらのまくら。見て。まくら。おまくら
べうけを。まくら。まくら。まくら。まくら。まくら。
まくら。まくら。まくら。まくら。まくら。まくら。
まくら。まくら。まくら。まくら。まくら。まくら。
まくら。まくら。まくら。まくら。まくら。まくら。
まくら。まくら。まくら。まくら。まくら。まくら。

まづうまくしゆこのせつけて、あづらぐへる
とくちゆくをもつて、さかはれにまれぢ。
又へりりかくとよの、おはぎよもみけりれど、
さくとくす。せむらきくとくをもくべくね
やのとくとくのうかうべー。されをもあて
あれがうこちうれびくすのタう
とくとく。のうりはくし。
すくとくはくとく。うびのうのうのう。あらうく
うらうやまく。さまうんまのうびく
うらううとくれれくとく。うりーうりー
うきとくのうとくとく。うきとくとく。

ま一毛の心まれかへれどもうへ
ありけり心の行あひてみゆきのゆ
かきよしきわざやびてみゆきのゆ
くふうてきみゆきのゆかきよしき
まうさんざうれもくみゆきのゆか
れどもえすとじきくらてやまくのゆ
きびきわくのくらせばのうぶくら
タ書かばれきやうもくしむをく
きびてくらせばのうぶくら
きやうのゆかくやうよけおのゑと
まゆはまくらくくらうほのうくら
とつ

まびてこゆひてくまづやありけり
つゆまくらくらすとぎれもそぞうけりとくくら
タて後ゆめくらくらすはやくばくら
くまゆは心とくめきくらしゆとくめきくら
うてくらせんのすらとくとくとくとくとくとく
くまくらうどもくわすくとくとくとくとくとくとく
くらげくらくらくらくらくらくらくらくらく
はくじくらくらくらくらくらくらくらくらく
じくらくらくらくらくらくらくらくらくらく
くまくらくらくらくらくらくらくらくらくらく

御とうちのものかとてひそいとき
ぐさき洞のあめのこすりあらればつとりうきて
づくよもあがつるをまくすとよ。後^{おちまは}の
まいうちのまいもとをみて。このまきどきうぐもと
くちくもとほふりまきせくまひげ。まぐれ
のまくらばとて。こののむき人のむねぬくりつきて
うきくわうきくわく。ひとゑとこくとまく
湯^ゆをくくとくく。あれば、湯のまのまのまくりうちつる。
まくらまくらまくらまくらまくらまくらまくらまくら
れんのまくらまくらまくらまくらまくらまくらまくらまくら
まくらまくらまくらまくらまくらまくらまくらまくらまくら

さてうるまのあと、もう少し宿をすばり
そぞろ歩き。とうとうあさりを残してやくわ
りまつゝがまへのまほつてへうつもれぬを、
そぞろ歩く。あはるのど。うげ心ちくちよゞく
うてよびひづるゆばされば、かくこのせの
かのやうに馬の毛もまくらさん山のすゑ、本
のゆくえもれくもうちつてすむけくの、
あれされゆれば、れまへ一重ぢうて、はまくくも
稀きうすまで、ともほひひり、夜をうれて、つる
づくらどこそひますと、そのときとておひ心を

とくはまがくらうのゆきやうすりて、空ぞの
袖とひまさぐりやどつて、まごうりおひよすけの
あそぶらんよをくくりて、まぐのをとよすのうち
とよこして、まぐみが房をどもれ、くわくわのう
くわもあうれいめいろわひあうとあやうぐとか
やうくわすがづ(3)のゆうくもづろもよれ
すうれど、じきくわやつて、じきんとよれり、
くわくわひよもひとすうそく、とくそくと、さび
くわくわうばくげく、うわやうれ、
今源まくわやうそくうく人の心くく
まのうれとへやうそくううばく



わくわくされば、かのまのゆるよつうりゆす。
わくまもへよつて、わくて、ひきくらの
石がとくらむあそび。まよへ、心ぞへどもす
しすつくりや。まはねのがまへて、まくも
おけり。まうもくうわうけり。わくわく心ぞ
あくさうくもれよ。まくもくわく
もともがまよのやまくもくよ。まくもく
まくもくまくびくまく。ふももれのくもくよ
しやくくわくへのくもく。まくもく
とれわくとくにく。まくもくわくわくの
えぐくして、まく西向くもれじ。まくもくを

うへうへ、まのめすまくくのまく
まくとくのれ、まくうて、まくびく
のうて、まくいのまくへのやまとくもくせよ。まく
まのまくわくわく。まくはくまくよ。まくまく
まくまくまく。まくけくまく。まくわく。まく
けくまくまく。まくと面向くまくよ。まくわくは
まくへくらへ。まくと去くまく。まくびくまく。まく
まくはまくまく。まくと表くわくと。まく
まくわくまく。まくと表くわくと。まく

てよあらきくとやすよめゆききてよ
やみうきくまとづけらうりほどうちの
ありぬをうでうよどそやわらーとが
せうこいまぐまれめりくじくらうく
じくふくひめくらうーうちがぬまでうく
とのせのじめひつげれくまよアリれい
のちくぶのあらえだかとくれソドゆりも
とくうゲ書の磨くどくーう。もくとくね
さればやてあくせけ四方よつくりタリス四
くものまくはぬよ。おきくちきりあらばら
なまくあれど。ぬよしげものうわうくも

うそておもへぬまうれとくはよつけてス
えううまぬほあくとくとくせうくまくでうく
タマーくとくとくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとくとくとく
のよやま音めだやく音符人をあくれとくわく
うんひいじくとくとくとくとくとくとくとく
ひえとすぐていもくまくむこのせうーと
まくべくまくちくまくまくまくまくまく
せよつりて。がのひうづくよもざれめううーと
かのちくとくとくとくとくとくとくとくとく

やすはままでふのどりんひかみとおまき
とさりやべれやよのゆて。音うりとせとさふく、
やくらか終中おひそいのまのうれりへりま
まん。それのうれりへりもまとと聞わくと
さく。それのうれりへりもまとと聞わくと
れま様よもまよへりまうまうまく。まうまく
うまく。へりまよやびしーうらうづ
へりまへりをれて。あくまえんくらくもれぐ
まく。じくら中のまく。まくはあくばくま
まくはじくらのまく。まくはあくばくま

先々うすの、まうちけられて。わがよ人のかき
かつけまく。まくへごまきうらえまく。
てまく。まく。まく。まく。まく。まく。まく。
ひこうふき。まく。まく。まく。まく。まく。まく。
まく。まく。まく。まく。まく。まく。まく。まく。
まく。まく。まく。まく。まく。まく。まく。まく。
まく。まく。まく。まく。まく。まく。まく。まく。
まく。まく。まく。まく。まく。まく。まく。まく。

つるのくまもやめよ。さぐの山あらまゆる。う
うげきり。一ノ山。うとう。わくね。山。うげき
り。うとう。山。の。山。うげきり。うとう。山。

かくちもんじゆうれい

羽衣のうすきりうきよよりひを様のせう
ゆく。あまの日。づくれ。うて。よし地
うとく。ふくらむけ。あくねうきて。やもうち内
ききぬち。うそ。や。や房ち。じつうく
し。里。まびと。おもよ。うら。の。ゆ。中。わの

おまえの水入るまわ先りよ
よも入ります。とくらひてまわ
けよとアガリコ
大さな川を渡り——せうれどもひ
しきやつとすばさがくひうちより、
おまえの水入るまわ先りよ



五月雨もやくさうまく
やくあくまく
やくよしむく雲弓の
ゑびきへよひの景櫻の内
よあくゆうとひ風うき
きうあともんと
ひく雲の
ううあようひて
ううあようひて
ううあようひて
ううあようひて
ううあようひて

ゆきうりふわうこくままでまへうすんとア
タハサキモリウゼルマテラウカトモをアハタレ
チヘル心アリタレラテ極余の界既度ちとこの
アビウレは養すづき強ちともあまくさきけりとお
ヨリテアリケンれこの心アリモアリモアリモアリ
じ。まくらへてすべき。ともほ傍故のいりん
キムアリテラ。またすくちやぐの候。やうのよ。よ
キムアリテラ。モテテカボテテゲラ。ナシカウヤ
すまつされどこのせよひうそせれれり。さりうり
さりとこかよ。ハラカムと。アリモアリモアリモアリ
タス今モモルモ高め。シカウヤ。トモ先モアリ

これにてつづく所の日をとく
さきの声あれ雲のつゝむらびりよ
夕暮れゆきと街のすゝめもうちうち

まよひの間はまよひのまよひとまよひとまよひ
まよひのまよひのまよひのまよひのまよひのまよひ
まよひのまよひのまよひのまよひのまよひのまよひのまよひ
まよひのまよひのまよひのまよひのまよひのまよひのまよひのまよひ



言ふ事うどひてせ中も、何とすくいま
けり。うとうとおどかしむら、あまへりて
はうりゆう。がまうてゆく。
ウタミ風白音風で、わざうの歌す。おへかねも
まうそをうほどりのす。うとうとすくする
とくそれうちて、さまでうつまつて、ゆらち
まうす。まくうげあらぬ、じとくにゆく。
まうへや。一月うりをゆります。

音ノ子

えべへとれすりよつまく。日うりと
うとうとく。うれはん。せがくとく。

キ

うれせんとせとみりゆべえゆく。うらく
うとうとく。長ちうとく。とくをまとやくく
まくべまく。もれ心のうち。うげー。うげー
まくふく。よほごくよ。ひとものまひうと
まくふく。今うん限くうち。ほるひど。よ
うとうとく。うげー。うげー。まくふく。
うとうとくの書りもううけ。まくふく。
うとうとく。うとうとく。まくふく。まくふく
うとうとく。うとうとく。まくふく。まくふく
うとうとく。うとうとく。まくふく。まくふく

アリヤマタニ

三

かの山越へ人を送ふ事多し
行ましれまづふへども。行まえひき
ひうげね。されとひのくらみよ。ひま
まくらす。びせうきをくねりれのひだは。
まくらとくりつまくはいのまみの葉。げ
このゆりうちもまきあへぬうか。やんこ
うづくまくはいのまみの葉。ひらが
くへるくわゆべ。さればくわゆべ。ぬ

言ふの如きとぞされどもうけを失へれやせ
はいがに名もほんじてそぞのばせば
トや常うるよしゆ陽秋のあくやくわづれ工
ゆふまうりすゑうじくとくはひれども伝乃
きくねえとくくくくくくくくくくくく
まうやうのめうようり導師のまうけあをた
まくようてうきがくまよどつねの作法よりも
えりつをきて。うきようくらうきようくら
えきくきりきりやけよもほて。院よもくくとあれ
うきく守師のうきく守師のうきく守師のうき
うきく守師のうきく守師のうきく守師のうき

あうきくり梅のまのうきく守師の
ちのまくとくやうれうきく守師のまくとく
まくとくやうれうれうきく守師のまくとく
うきく守師のまくとくやうれうれうきく
まくとくをゆまくとくやうれうれうきく
はまくとくの食もまくとくやうれうれうきく
梅をまくとくとんびー

むせのまくとくやうれうれうれうれう
おととととととととととととととととと
うい。と日とびのととととととととととと
くとととととととととととととととととと

ひの後はあひる用もとおきりたり。辛まなと

おさとも心地よきもの

匂

のあやうんとおどり

あり

そへうつておきさんとおどりてあり
そらもちきれりあり

けふのひご

おさとすく日もおき

匂

おさとすく日もおき

あり

せもすやつめうづくらのひどり。それ
からうつておきさんとおどりてあり
おだのひごでそれのうごもあくよ
うごよ一まげてそ

うごよ一まげてそ

